



永和中体育館を 別の場所に立て替えては

高松 幸雄 議員

有効な構想のひとつとして検討する
教育部長



▲老朽化した永和中学校体育館

問 永和中学校体育館

は、令和5年に天井のコンクリートが剥落し、生徒や利用者への安全性が確認されるまで1カ月間ほど閉鎖するという状態が起きた。次にまた同じようなことになった場合、誰もけがしないという保証はない。授業や学校行事、部活動にも支障を来す。学校開放や万が一の有事の際に避難する市民にも大きな影響を及ぼす恐れがある。

体育館利用者が安全に

利用できるように、これまでどのような対策が取られているのか。

体育館の雨漏りは常態化している。利用者が快適で安心して体育館を利用するためには雨漏りを根本的に解消することが必要だ。

雨漏り対策は現在どうなっているのか。

答 利用時に床等に落下したコンクリート片の有無を確認するとともに、

月に1回程度、学校教育

課職員が天井に上がりひび割れや浮きがないかを点検している。雨漏りの

状況は雨天時に学校から報告を受けている状況で、7年4月の大雨が降った際には体育の授業や学校開放の利用を中止した。

問 コンクリートの剥落

や雨漏りを含めてこれからどうするのか。

答 今後も施設・設備に係る保守業者からの指摘事項等を教育委員会として総合的に勘案して、老朽化対策に取り組む。

問 別の場所に体育館を

建て替える考えはないか。

答 授業や学校開放等にも影響を及ぼしている雨漏りや空調設備が整備されていない現状を総合的に勘案した上で、有効な構想のひとつとして検討していく。

積極的な子宮頸がん
ワクチン接種を

問 子宮頸がんはワクチン接種が日本でも無料で受けられるようになった。

小学校6年生から高校1年生までが対象で5年間ある。自費なら3回接種で最大10万円かかる。

無料接種期間の最終年度となる高校1年生の対象者に個別ハガキで通知する考えはないか。

答 ワクチンの接種期間終了に関する案内通知は接種機会を逃すことを防ぐ効果が期待できる。接種期間の最終年度となる高校1年生の未接種者を対象に通知する予定だ。